

厚木の四季

冬

- あつぎウインターイルミネーション(11月上旬~1月上旬) / 中心市街地
- 六夜祭とだるま市(1月26日) / 七沢
- あつぎ駅伝競走大会(1月下旬) / 荻野など

イルミネーション



あつぎ駅伝



酉の市



だるま市



相模人形芝居



市民芸術文化祭

出初式



工業

KOGYO

工業

KOGYO

金属加工

金属は硬いけど、
手で触っただけでも
微妙に変化するんです。

鉄、アルミ、ステンレス、チタンなどの金属に、切る、削る、曲げるなどの加工を行い、目的の形状を作り出す仕事です。仕事の分野は建築や自動車、工業用機械など多岐にわたり、それぞれに要求される技能や精度も異なります。加工の工程に関する専門技術はもちろん、設計図面を読み取る知識も必要とされます。

職人への道

理工系の大学や専門学校、工業高校等を卒業し、金属加工を行っている会社に就職します。入社後に研修期間がある会社もありますが、仕事の中で技術や知識を身に付けていくことが基本です。技術は日々進歩し変化していくため、新しい技術に対応していく柔軟性も欠かせません。

技能検定 機械加工（特級、1・2・3級）
金属プレス加工（特級、1・2級）
放電加工（特級、1・2級）など

業界の現状

金属加工業についても、生産の拠点を海外に移す企業が増えています。このため、国内では主に高い品質や精度が要求される加工や、急な発注への対応等が求められています。顧客の要望や新しい技術に対応するため、技術力の高さのみならず、思考の柔軟性や大学等と連携する力も高めていく必要があります。

取材協力

日立オートモティブシステムズ株式会社
厚木事業所



メッセージ
まずは真摯なこと。
そこから、
新しいものが
生まれてくる。



広瀬 健さん

特級機械加工技能士、職業訓練指導員免許、
プレス機械作業主任者など
神奈川県卓越技能者表彰

1973年に入社以来、工作機械を使い精密機械部品や金型の製作を担当してきました。精密な道具を作ったり、時には、お神輿の製作をNCと呼ばれる機械設備を使いながら加工したこともありました。木材、金属それぞれ色々な環境で命があるように変化するので難しい反面楽しくやりがいがあります。技能の習得には、最初は優秀な先輩を徹底して真似ること、行き詰っても決してあきらめないこと、原理、原則と合わせることが大切です。



工業

KOGYO

金属材料検査

出発点からたどっていけば、
必ず事実が見えてくる。

金属材料や製品が設計どおりに出来上がっているか検査する仕事です。外観や強度、組成など様々な項目について試験を行い、品質を管理します。試験を正確に行う技術に加えて、金属材料や加工方法に関する知識が無ければ正しい判断は出来ません。品質保証にかかわるため、慎重さや冷静さ、粘り強さも必要とされます。

職人への道

理工系の大学や専門学校、工業高校などを卒業し、金属材料検査を行っている会社に就職します。仕事の中で技術や知識を身に付けていくことが基本ですが、新しい材料等に対応するための勉強も欠かせません。幅広い技能が必要とされるため、一人前になるまでには時間がかかります。技能検定 金属材料試験(1・2級) 金属熱処理(特級、1・2・3級)など

業界の現状

金属加工の高度化に伴い、金属材料検査の仕事も高度化しています。加工の難易度が高まれば、それだけ不良品が出る可能性も高くなり、検査の重要性も高まります。また、要求される精度が高くなれば、検査技能の高度化も要求されることになります。技術の発展によって、より重要性を増している仕事といえます。

取材協力

日立オートモティブシステムズ株式会社
厚木事業所

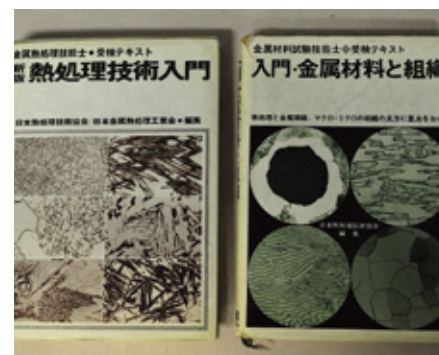


メッセージ
こだわり抜いて
正解を見つけること。
事実を証明
してくれます。

杉山 良晴さん

一級金属材料試験技能士、特級金属熱処理技能士
現代の名工(国の卓越した技能者の表彰)

工業高校を卒業してから44年、自動車部品の検査一筋で来ました。製品が図面どおりに出来ているか、不良があれば、その原因を調べるんです。自動車は沢山の部品から出来ていますが、たった一つでも欠陥があったら人命にかかわりますから、どんなことも見落とせません。完全に不具合がなくなるように対応することが必要であり、そのために検査するんです。徹底的に不良品ゼロを目指す「こだわり」が大切です。



工業

KOGYO

旋盤

見て、触って、聞いて、削る。
五感を総動員して、
精密な部品を削りだす。

旋盤という、材料を回転させながらバイトという刃物で削って加工する工作機械を使い、様々な部品を作る仕事です。金属加工のあらゆる場面で必要とされます。単なる円筒形の金属から、複雑な形状を0.01mm、レベルの高精度で削り出していくためには、繊細な感覚と手先の器用さに加え、成功するまで考え続ける探究心や根気も必要です。

職人への道

工業高校や工業系の専門学校などを卒業してから就職する方法と、職業訓練校で学んでから就職する方法があります。いずれの場合も、就職後も研修や実務の中で技能を磨き続ける必要があります。金属材料や刃物の性質に関する知識も常に学び続けることが大切です。

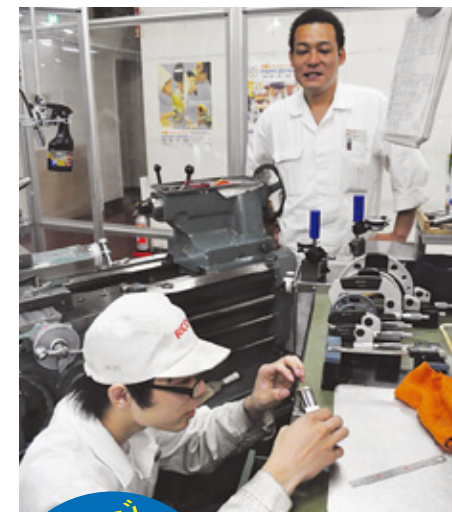
技能検定 機械加工 (特級、1・2・3級)
機械検査 (特級、1・2・3級)
機械保全 (特級、1・2・3級)

業界の現状

現在は、NC旋盤といわれるコンピュータ制御の旋盤を使う割合が高くなり、旋盤工の仕事も、プログラムの作成や機械の調整が主になっています。NC旋盤の場合も、いかに効率的に高精度な部品を作るかを考える探究心と金属や刃物に関する知識、経験が重要なことは変わりません。ものづくりの「軸」を支える技能です。

取材協力

株式会社リコー厚木事業所 TEL 046-241-1511
〒243-0298 厚木市下荻野 1005



メッセージ
いろんなことに
興味を持って、
やってみなければ
好きでなければ
続けられません。



上浦 伸也さん

機械加工1級 (普通旋盤)、機械検査1級、
機械保全1級
神奈川県青年優秀技能者表彰、
第24回技能グランプリ銀賞

今は主に、技能五輪出場選手のトレーニングをしています。同じ材料と道具を使って作っても、なぜ同じように出来ないのか、理由を自分で気付かせることが大切ですね。わざと傷んだ刃に替えておいて、気付くかどうか試してみたり。動きも遅くごちなかった若手が、大会で結果を出すまでに成長したときは、本当にうれしいですね。ものづくりの技能は一回途絶えてしまうと取り戻すのに時間がかかりますから、人材育成は何より大切です。

クレイモデラー

自分が形造った車が
街を走っている。
最高ですよ。

工業用粘土（クレイ）を使って、自動車などの工業製品のデザインを立体化する仕事です。デザイナーのスケッチからデジタルモデラーが3Dデータを作り、それをもとにクレイモデラーが最終的に実物大のモデルを造り上げます。このモデルを計測し、実際に生産する製品のデータが作られます。製品としての様々な条件を織り込みながら、イメージを形にする力が必要とされます。

職人への道

美術・デザイン系の大学や専門学校などを卒業し、自動車メーカーやクレイモデル制作を行っているデザイン会社などに就職します。カーデザインなど、実際にクレイモデル制作を行う学科もあります。未経験からでも就職は可能ですが、「形」への探求心は必須です。一人前になるまでには10年かかるといわれています。

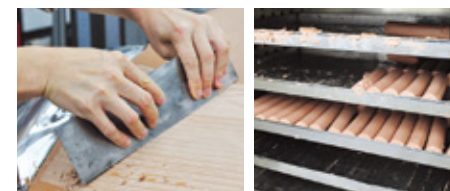
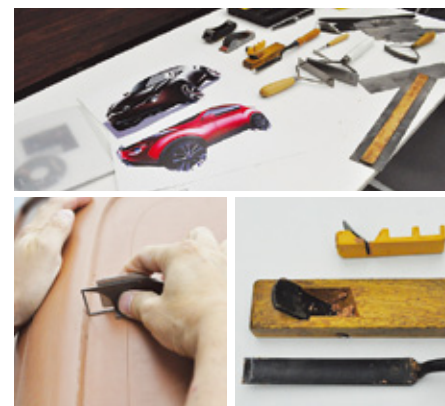
資格 特になし

業界の現状

現在はコンピュータを用いた3Dモデルも活用されていますが、実際のモデルを作らないと分からない部分もあります。現実存在する「もの」としての印象や質感などは、実際の空気と光の中で、目の前に存在するモデルに触れることによって感じることができるのです。デジタル化が進んでも、その重要性は変わりません。

取材協力

日産自動車株式会社テクニカルセンター
〒243-0192 厚木市岡津古久 560-2



メッセージ
造るモノへの情い
やる気が大切です。
未経験でも
伸びる人もいます。



陣内 悦さん

日本カーデザイン大賞 ゴールデンクレイトロフィー
現在はマイスターに任命され、後進の指導にも尽力中

子供のころから車が好きでしたから、この仕事につけたのは幸運ですね。もう30年になります。デザイナーのイメージを最高の状態で立体化するのが仕事ですが、車は内部の構造物の位置や共通部品の形などの制約も多いですから、その中でデザインの良さを最大限に引き出すために、デザイナーとのコミュニケーションが大切です。今は一つのモデルを作るのに、リーダー、中堅、若手のバランスを考えた4人程のグループで行っています。難しい仕事ほど、やりがいがありますよ。

工業

KOGYO

開発実験

実験は瞬間勝負。
プロは一日にしてならず、
でもチャンスは一回。

自動車などの製品を開発するためには、必ず実験が必要です。エンジンなどの部品一つ一つが設計通りに動くか、想定された性能が出るかなど、実際に作って確かめなければ製品化することはできませんし、実験によって改良点を見出すことで、より良い製品が生まれていきます。幅広い知識と高い技術に加え、ものづくりへの探求心が要求される職業です。

職人への道

理工系の大学や専門学校、工業高校等を卒業し、機械製品の開発を行っている会社に就職します。就職前に必須の資格はありませんが、実務の中で必要となってくる資格は数多くありますので、常に勉強を続けることが必要です。

技能検定 内燃機関組立て（特級、1・2級）

関連資格 ガソリン自動車整備士

危険物取扱者

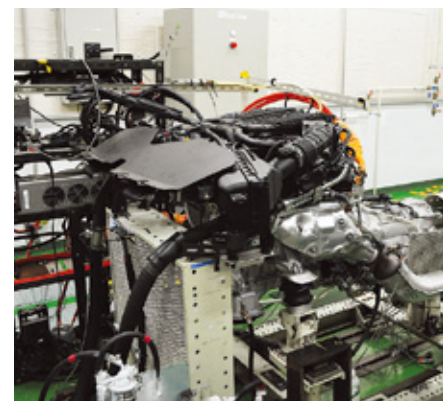
高圧ガス製造保安責任者など

業界の現状

技術が進歩を続ける限り、開発のための実験は必要とされ続けますし、要求される知識や技術もより高度になります。どれほど素晴らしい設計でもそれを実現するための技能がなければ、現実のものにすることはできません。実際に作り、動かした経験に基づく感性も、「ものづくり」における重要性を再認識されています。

取材協力

日産自動車株式会社テクニカルセンター
〒243-0192 厚木市岡津古久 560-2



メッセージ
まずは色々に
興味を持つ。
好きなことを見つけたら、
びげずに進むこと。



古屋 浩彦さん

一級内燃機関組立て技能士、二級ガソリン自動車整備士、
危険物取扱者（乙種4類）など
神奈川県優秀技能者表彰

高校の機械科を出てすぐに入社しました。たまたま希望する部署に入ることができて、それ以来、エンジンに関する実験を20年以上やりました。今はハイブリッド車のシステムに関する実験を担当しています。新しいことが次々に出てきますから、色々な引き出しを持っていることが大切なんです。それが発想力に繋がります。それから「1回やったらプロ」という意識で1回の機会に集中すること。大変なことも多いけど、新しいものを作るというモチベーションというか、やりがいには大きいですよ。